



☎ (86-10) 6892-1000
☎ (86-10) 6894-8030
✉ zhanghan@wanhuida.com
📍 北京

張涵

パートナー弁護士

事業内容： 商標、競争法、著作権、知的財産権訴訟

使用言語： 中国語

経歴概要

張涵、万慧達知識産権のパートナー、弁護士、北京市万慧達律師事務所党の支部書記

張涵弁護士は裁判所で5年間勤務し、2011年に万慧達知識産権に加入した。商標、特許、著作権などの民事訴訟案件に得意である。万慧達知識産権に勤める期間に張涵弁護士はHermes、ミシュラン、ラコステグループ、ミシュラン、CHIVASグループ、ノキア、メドロン、中国移動、Suning.com、貴州茅台グループ、中国蒙牛グループ、雲南白薬などの有名企業に法律業務を提供し、顧客から高く評価を得た。

主な公職

最高人民検察院「民事行政案件コンサルタントの専門家」
北京市律師協会商標法律専門委員会
海淀律師協会知財委員会主任
北京市律師協会

資格種別

弁護士

事件を取り扱う

代理した案件の受賞状況は以下の通り

- 最高人民法院が発表した中国法院の知的財産権典型案例TOP50に選ばれた。「馬培徳公司与陽江市邦立貿易有限公司、陽江市伊利達刀切有限公司との意匠権侵害紛争の再審査案」。
- 代理した「金龟子氏名権商標権利化案」が2019年に北京知的財産法院TOP15典型案例に選ばれた。
- 代理した「健保閃債商標無効宣告案」が北京知的財産権司法保護研究会の商標登録案件TOP10典型案例に入選された。
- 2018年度の重慶法院知識産権保護典型司法案例に入選—「重慶小康民事侵害訴訟」；

- 山東法院の知識産権10大案件に選ばれた——「ミシュラン商標権侵害および不正競争案」；
- 河南知識産権審判10大案件に入選された——「洛陽杜康が白水杜康に訴えの商標権侵害の案件」；
- 「阿爾山商標無効宣告案」が北京知的財産権司法保護研究会商標授權確権十大典型事例に選ばれました。
- 「朗文」馳名商標の認定が香港の有名なメディア「商法」より2014年度の傑出の取引に選ばれた
- 代理した不正競争事件案件「小愛同学」が2023年中国法院のTOP10の知的財産権事件、2023年中国法院の12件の知的財産権重点宣伝事例、浙江高等法院の2023年度TOP10の知的財産権典型事例に選ばれました。
- 品保委の2023-2024年度知的財産権保護ベストテン民事訴訟及び司法案件に選ばれました。——「ユニリーバ(中国)投資有限公司対郭氏、周氏商標権侵害及び企業名(商号)権侵害訴訟事件」

論文と著書

- 「朗文」および「Longman」商標は馳名商標として保護された；
- どれが使えるか、どのように比較するか—工商総局は企業名登録の新しい標準を発表；
- 新司法解释について、案件を用いて説明するシリーズ(四) 小康図形商標近似判断と誤認混同の判断；
- 商標新司法解释について、案件を用いて説明するシリーズ(三) 区分を超えて馳名商標の保護に公衆クロスの要素を考慮必要；
- 商標審査 各案件の審査する際に信託の利益の保護原則；
- 京知動態 「太極」馳名商標は強く広く保護された；
- 著作権 『北京高級法院がネット知的財産権に関する案件の審理指南』解説(一)；
- 北京 商標の拒絶不服審判の行政訴訟案件が四十五日以内に判決可能；
- 反不正防止法6.1 原告が主張した「有名商品特有の包装?外装」の権利を、なぜ被告に所有することを認められたか
- 美図秀秀 最高法院がインターネットにおける馳名商標の特殊性を明確した；
- スポーツ大会のインターネット中継の著作権の保護；
- Meituxixiu: Recognition of a well-known trademark in the internet context。
- （「商法雑誌」2018年11月10期、文章）
- 権利侵害の責任法6 |ドメイン、企業名、商標登録の行為自体が侵害になる場合、賠償責任を負わなければならない；
- 商標法30 |未使用の引用商標は後の知名度の高い商標を対抗することはできない；
- 商標法10.2、11.1(2)——「阿爾山」及び「阿爾山鉱泉」商標争議から地名商標の無効事由の考察；
- 商標法44.1項——44.1項を十分に運用して、商標の悪意ある駆け込み登録を抑止する；

- 商標法15——「健保閃償」商標無効宣告案から『商標法』第15条の適用について
- 商標法10.1(7)、10.2、11、13、16、44.1、59.1商標法体系における地理標識の司法保護を浅析する；
- 「中華商標雑誌」2019年第12号記事「商標法体系における地理標識の司法保護」です。
- 『奢侈品雑誌』2019年11月の記事「金龟子氏名権保護」
- 蒙牛社が「迷人」の模倣品を打撃；

受賞歴

- 「中国優秀知的財産権弁護士TOP50」のランキング(2019年)に選ばれた。
- 2020年に知的財産権出版社有限責任会社の言語サービス事業部から「WIP公開授業『榮譽講師』」の称号を授与された。
- 2021年に最高人民検察院第六、第七検察庁から「民事行政検察情報ネットワーク」の専門家の証明書を授与された。
- 2021年に北京市海淀区司法局から「海淀区領軍弁護士」の称号を授与された。
- 2022年に海淀区律師協会の「2022年度海淀区優秀弁護士」を受賞された。